




海上ロープウェイで
離島に賑わいを！

はじめに

- 今年、私の地元、香川県では瀬戸内国際芸術祭が開催されている。瀬戸内国際芸術祭とは3年に1度、瀬戸内海の12の島と2つの港を舞台に開催される現代アートの祭典である。
- 瀬戸内国際芸術祭の期間中、国内外問わず多くの観光客がアート作品を鑑賞にやってくる。特に小豆島や直島といった人気の島は大変な賑わいを見せる。





瀬戸芸会期中での 問題点

- 瀬戸内海の島に行く手段は船しかない。
- 会期中の船は超満員になることも多く、定員オーバーで乗れない、いわゆる積み残しが発生。
- 船が超満員になり島民たちが乗れないということが起きる。
- 船の数は多くなく、頻繁には来ない。
- フェリーだと速度が遅い。
- ある島から、次の島に行くにはマザーポートである高松港、宇野港を経由しなければならない。

普段での問題点

- 船は天候に左右されやすく、しばしば欠航になることがある。
- 会期中以外では観光客が少なくなる。
(会期中は非日常を味わえるが普段ではただ不便である)
- 船は操縦士や整備士等多くの人員がかかる。
- 船は自然に悪影響である。
- 大型の船は簡単に変えかえることができない為メンテナンスがとても重要になってくる。
- 本島でイベントや大会が行われても、船の時刻第一で運営される。

岡山県
OKAYAMA

解決策 港と島を結ぶ ロープウェイをつくる

具体的なルート

- ① 宇野港 → 直島 → 豊島 → 小豊島 → 小豆島
- ② 高松港 → 女木島 → 男木島 → 豊島 → 犬島



香川県
KAGAWA

ロープウェイの利点

大量輸送できる

頻繁にやってくるため待ち時間が短い

構造がシンプル（特殊な部品や機械類を必要としない）

運転士が不要

低公害（排出ガスがない、騒音・振動が少ない）

高低差や急勾配に対応、風雪に強い



海外の事例

- ホントム・ケーブルカー（ベトナム）
- ベトナムのビーチリゾート・フーコック島から別の島であるホントム島を結ぶ世界最長のロープウェイ
- 片道7.8km、15分程度の乗車時間

更なる可能性

- 瀬戸芸の会場である西よりの島を結ぶルート
- 福岡市→能古島→志賀島
- 長崎→五島列島
- 多くの離島で活用できるかもしれない



更なる可能性

- ゴンドラをいろいろアレンジすることで地域の情報を発信したり、ロープウェイ自体が目的となったりする。

- 例)
- ゴンドラを直島の黄南瓜にする。
 - 瀬戸芸の作品を広告として載せる。
 - 夕日が美しく見えると紹介する。
 - 美しい夜景を見ながら食事できるようにする。



まとめ

- 比較的大きめのゴンドラを使用し、通常時は1時間に1便程度、混雑時にはゴンドラの数を増やし輸送人員を多くする等して汎用性を高める
- 段差の少ない設計にすることで、お年寄りや障害のある人にも使いやすい乗り物にする
- 島の魅力を発信するのに加え、その地域のシンボリック的存在になる